

- 開催日：2017年5月16日(火)
- 参加者数：10名(KDF会員5名)
- 案内人：中村 實(KDF会員)
- 主催：公益社団法人かながわデザイン機構



小田急線鶴川駅～東光院宝積寺

10:00am、小田急線鶴川駅南口に集合し、徒歩にて出発。途中橋の下のごみ集積所になんと6か国語で書かれた案内板が取り付けられていた。どうい



う人たちが住んでいるのか。

鶴見川に沿って麻生区の飛び地となっている岡上東光院緑の保全地区に到着。中にある東光院宝積寺は若葉が生い茂りとても気持ちのいいお庭なのだが参拝者は誰もいない。仁王門は二層になっており、一層には外に向かって仁王が内に向かっては6体の地藏様が立っている。唐様で立派である



～鶴川駅～柿生駅

東光院を出ると更に一帯は緑の多いゆったりとした住宅地が続くが、「梶」さんという表札が多い。鶴見川沿いに歩くと、周りの家屋は皆新しいので、開発が最近なのだろう。鶴見川は東京都と神奈川県で整備しているようで、全くゴミが無かった。大きな鯉が悠々と泳いでいる。町田市に入り鶴川駅に到着。小田急線に乗って隣の柿生駅で下車する。



～夏菟山修廣寺(なつかりやましゅこうじ)

柿生駅から徒歩で片平にある曹洞宗の夏菟山修廣寺に向かう。石積みの階段を延々と上ると一面の竹林になり、きちんと整備されていて散歩道なども作られていてとても気持ちのいいエリアになっている。少し下るとお寺の巨大な太鼓が迎えてくれる。この太鼓自体はイベントの後貰ったとのことだが、太鼓を教える教室もあるこの寺にはとても似合っていた。26代目のご住職が迎えて下さり、本堂で1400年代初めから続くこのお寺の成り立ち、又明治初期の学舎から川崎市柿生小学校となる迄の変遷とその中でこの寺が教育の重要な要となった事を詳しく説明して下さいました。活動的なご住職で地域の寺のまとめ役になっていらっしゃるようだ。人を引き付ける方である。



～五月台～はるひ野駅～

夏菟山修廣寺を出て片平小学校の前を通り、住宅街を抜け五月台駅に行き、電車でははるひ野駅下車。はるひ野駅舎はガラス張りの壁に対してなだらかな曲線を描く屋根が特徴。現代的なフォルムでいかにもこの町が新しいと感じさせる。駅の周りには個人店らしいものは無く、ショッピングモールがあり大抵のものは揃うようになっている。ゆったりとした丘陵地帯にマンションが立ち並ぶ。その中に在る広いイタリア料理店「リストラテアペーテ」で昼食。お洒落な内装、料理で女性客が多かった。



～新百合ヶ丘駅・川崎市アートセンター

新百合ヶ丘駅から徒歩3分で川崎市アートセンターへ到着。2007年の創立だそうで、映像館と小劇場があり其々借りる事が出来る。様々な発表に使われているようだ。又編集作業もできるようになっている。近くに日本映画大学や昭和音楽大学があるので、芸術のまちとして知名度が上がっていくのだろう。30年前には畑ばかりだった小田急多摩線一帯は急激な変化と発展をとげていて、面食らうばかりだった。この後駅そばの居酒屋で反省会そして解散となった。



文責：今井郁子